

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	甲州市塩山三日市場	地区名	(主) 塩山勝沼線(三日市場工区)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	------	-----------	-----	-------------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
 主要地方道塩山勝沼線は、甲州市塩山小屋敷を起点とし、甲州市勝沼町勝沼を終点とする主要な幹線道路であり、当該箇所は、県内有数の観光地である恵林寺を始め、大小様々な神社仏閣が点在している観光地である。また、松里小学校への通学路となっている。
 当該地区は、朝夕の通学、通勤時間帯や観光シーズンの交通量が非常に多い道路で歩道がなく、利用者にとって非常に危険な状況であるため、早急に歩道整備を行い、利用者の安全を確保する必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 ○歩行者等の安全性の確保
 歩行者・自転車交通量 60人台/12h(H27セカ) < 93人台/12h以上 (平日) ※
 自動車交通量 5,191台/12h(H27セカ) > 3,428台/12h以上 (平日) ※
 通学路指定 有り
 小学校からの距離 0.9km<概ね1km以内※
 現況の歩道幅員 現況歩道無し0m < 1.4m未満※ ※評価基準値

□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上
 道路改良率 79.7%(R3道路現況表) > 64.0% ※
 混雑時走行速度 22.8km/h(H27セカ) < 30km/h ※ ※評価基準値

□副次効果 ○バリアフリー化の促進 (車椅子で通行可能な幅員の確保)

(2) 整備内容

①整備内容 道路改良 L=440m W=6.0 (13.0) m
②着手年度 令和4年度 **③完成見込年度** 令和13年度
④総事業費 約770百万円 (国費412百万円(5.35/10) 県費358百万円(4.65/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	詳細設計・用地測量	20 百万円
令和5~8年度	用地取得	340 百万円
令和9~11年度	用地取得・工事	330 百万円
令和12~13年度	工事	80 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
 なし

(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない
 ・一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない
 ・県道の改良事業であり、道路法第15条により県が行うべき事業である。

③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	770 百万円	工期	R4~R13	基準年	R3
経済効率性	費用	595 百万円	便益 1884 百万円		
	建設費	562 百万円	走行時間短縮	1691 百万円	
	維持管理費	33 百万円	走行経費減少	142 百万円	
			交通事故減少	20 百万円	
			その他※	31 百万円	
B/C		3.1			

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益
 費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

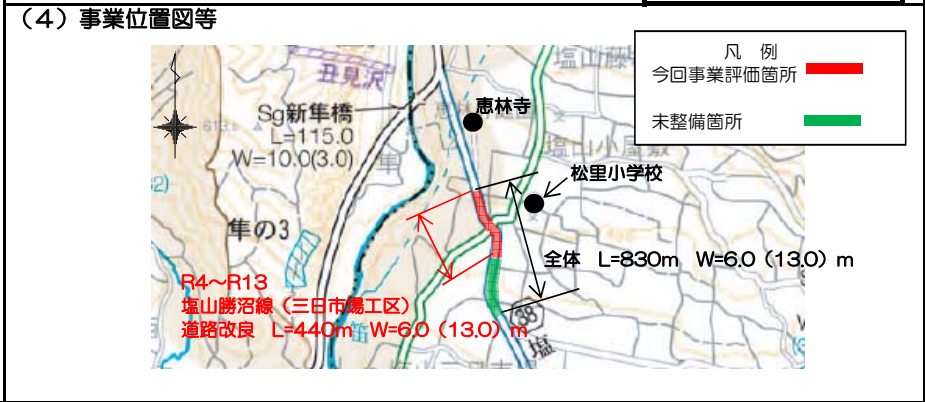
④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない
 未改良区間であり、交差する道路状況から最も効果的な事業規模である。

⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない
 現道拡幅事業のため道路敷地を活用できることから、周辺への影響が小さく経済性に優れ、早期に工事完成が期待できる最も妥当な計画である。

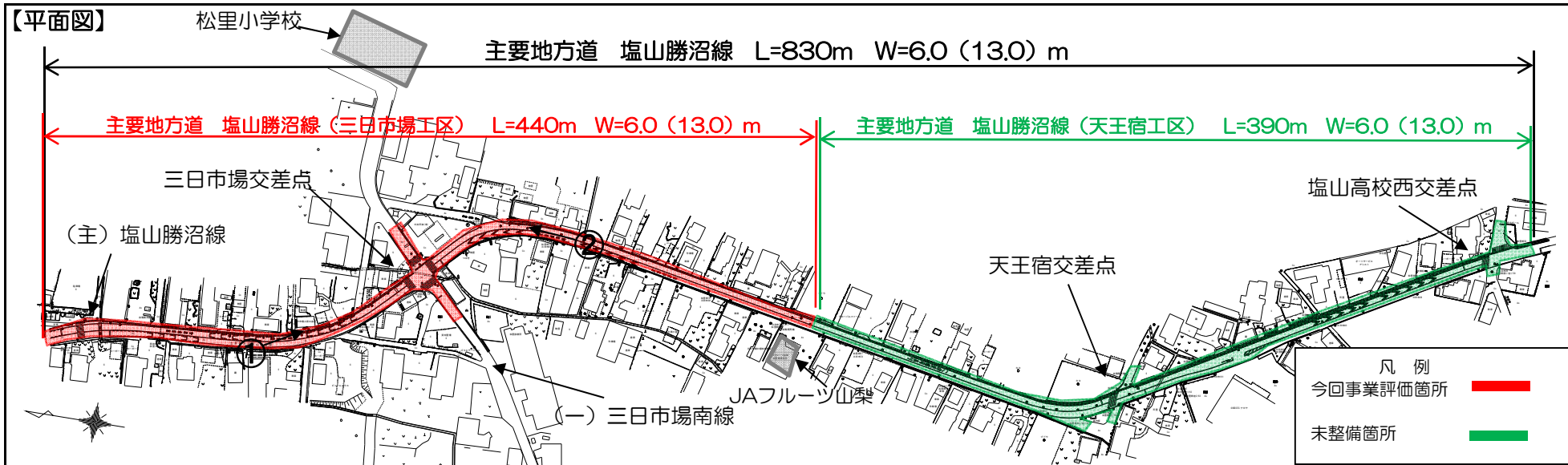
⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない
 現道拡幅事業であり環境への影響は少ない。

⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない
 地元から早期事業着手の要望を受けている。

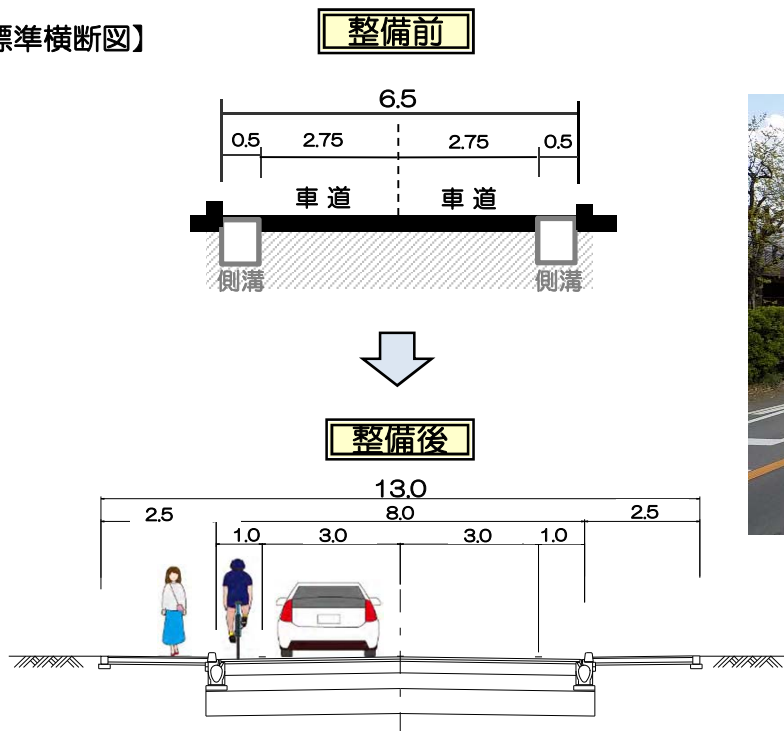
総合評価 [貢献度ランク: a]



2. 添付資料シート



【標準横断図】



【写真①】
カーブの先に交差点があり危険な状況



【写真②】
線形が悪く視距が確保出来ない状況